

1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 安全で質の高い看護を提供する

脳神経疾患看護は病棟内学習会を 5 回実施した。学習会に参加できていないスタッフへは伝達も行った。2年目の4名を対象に SCU 研修をすべて実施した。研修後のケーススタディを行い、知識を深めた。看護を語る会は 3 名実施し中堅とベテラン看護師の看護観を共有し自己の看護観を振り返る機会となった。倫理カンファレンスは4件/年実施した。「患者の思いを汲み取る関わり」「個人情報取り扱い」「清潔援助について」「ナースコール対応について」カンファレンス後に行動をかえていく取り組みを決めた。ほとんどのスタッフが意識し変えようとするが継続が難しい。今後も機会ごとに師長、副師長が働きかけを行う。PNS®のリチャッフルを活用する業務調整では日々、リーダーの力量の差があり育成も課題である。

2) 病院経営に参画する

認知症加算、入退院支援加算、排尿自立ケア加算は委員が確認することで算定漏れを防いだ。加算の意味や請求方法を周知し資料を用いて個別に指導をした。超過勤務による 36 協定越えなし。新たな時間管理によりスタッフが自己で超過勤務時間の管理を行っている。今後健康管理、時間管理を継続的に指導する。病床利用率は 71.2% (前年度 70.9%) 他科を継続的に受け入れている。平均在院日数は 12.6 日 (前年度 12.1 日) DPC II 期末、あるいは少し超える程度で退院できるように毎週のカンファレンスで医師と退院時期の共有をした。脳神経内科・外科の患者は自宅退院する患者は少なく、回復期リハビリテーション病院に転院、地域包括へ転院する場合、既往歴や合併症の多い高齢者は調整中に病状が変化し調整に時間を要することがある。入院時から患者・家族の意向を確認し早期に退院支援ができるように引き続き受け持ち看護師は役割を果たすことを目標にする。

3) 患者の視点に立った医療安全を推進する

転倒転落: 44 件 (前年比 90%) センサー類をアセスメントし選択、緩衝マットの使用、超低床ベッドを活用しているが、センサーコールの対応の遅れや目を離れたすきに転倒も少なくない。転倒要因の分析し今後の活動に活かす必要がある。3b は 4 件 (前年度 3 件) すべて ImSAFER による分析を行った。対策の継続が課題である。標準予防策の指標としてアルコール使用料は平均 9.34 回 (前年比 3% 増 = 7.08 回) 各スタッフの使用量を可視化し、自己決定論を活用し個人が次の使用量目標値を決めて実践した。

4) 専門職としての能力開発に努める

幹部任用試験に 1 名合格した。摂食嚥下認定課程修了者 1 名。院内のクリニカルラダーに則り研修に参加できた。

5) 看護の先輩として学生に関わり、質の高い看護職を確保する

中国四国グループ実習指導者講習会を2名受講した。研修において成人・老年看護学実習Ⅲ実習案作成し今後の実習指導に活用する。

6) 活気ある職場、元気の出る職場づくりを推進する

アシスタント・クラークの業務内容、遂行状況を確認し、業務のオリエンテーション用紙を追加修正した。互いに協力できる業務に柔軟に変更させ、定期的に要望を確認しあうこととした。

2. 病床運営状況

表 1 令和 6 年度 病床運営状況

収容可能 病床数(床)	診療科名	月平均		平均在院 患者数(人)	平均在院 日数(日)	病床 利用率(%)	病床 稼働率(%)
		新入院患者数(人)	退院患者数(人)				
49	脳神経内科 脳神経外科	73.3	95.5	34.9	12.6	71.2	77.6

重症加算病床		有料個室		死亡者数(人/年)
病床数(床)	稼働率(%)	病床数(床)	稼働率(%)	
2	96.6	7	92.8	27

3. 看護体制

表2 令和6年度 看護体制(令和6年4月1日現在)

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)
30	PNS [®]	3:3

4. 看護統計

1)重症度、医療・看護必要度

表3 令和6年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度Ⅱ

※2024.6 から急性期一般入院料1 必要度区分Ⅱとする

基準を満たす患者の割合(%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
		32.5	27.5	25.1	26.5	23.4	23.3	22.6	28.9	27.2	27.5	25.7	21.4

2)部署データ

表4 令和6年度 SCU 病床運営状況及び t-PA 治療件数

SCU 入室患者総数(人)	135
月平均入室患者数(人)	11.3
平均在室日数(日)	7.4
t-PA 治療件数	3

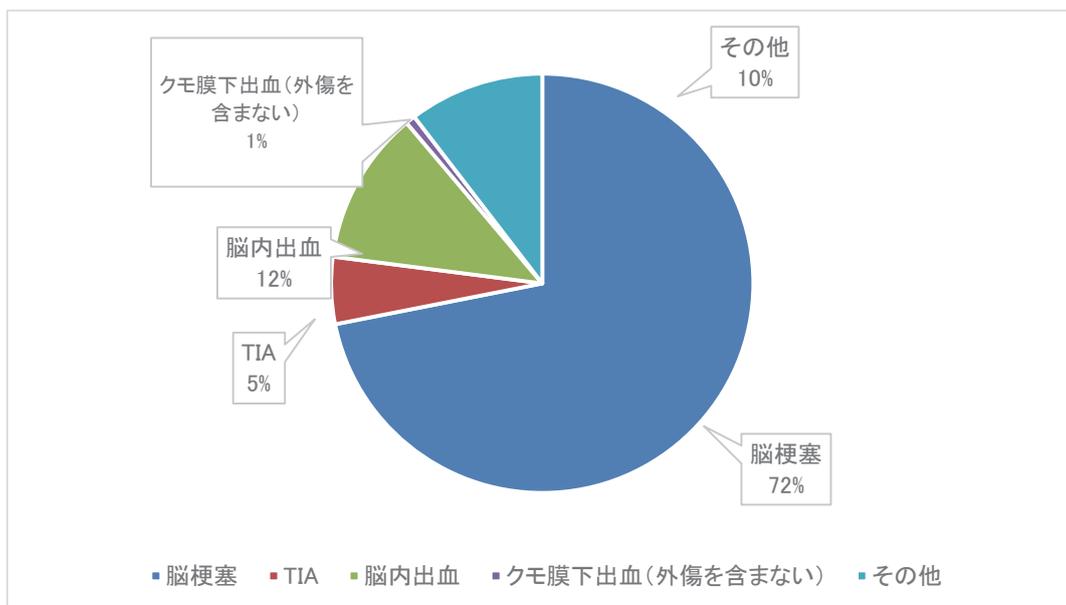


図1 令和6年度 SCU 入室患者疾患別割合